

COVID-19 感染患者治療の疫学的調査

この研究計画は京都第一赤十字病院倫理委員会の承認を得ており、実施について京都第一赤十字病院 病院長の許可を受けています。

研究の目的

2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が報告された。このウイルスは新型コロナウイルスとして、また疾病はCOVID-19と称されています。COVID-19による感染は世界的に流行し、WHOでは2020年1月30日に緊急事態宣言を行い、3月11日にはパンデミックの宣言がおこなわれました。世界的には中国以外にも感染患者が拡大し、欧米諸国をはじめ、同年3月24日時点で感染者数は30万人、死亡者数は14000人を超え、感染者の人数は日々数万人を超えるペースで増加しています。日本では1月16日に初めて患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定されました。

この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイルス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後のCOVID-19感染症治療の確立には急務であります。そこで今回の研究の目的は、広島大学主導で全国の多施設でのデータを集め、日本におけるCOVID-19感染症における臨床データ・治療内容を解析し、病態解明・治療法開発の一助とすること、また日本独自の疫学的評価を行うことを目的としています。

研究の方法

・対象となる方について

年齢は問わず、性別男女問わず、2020年1月1日から2025年3月31日の間に京都第一赤十字病院に入院され、人工呼吸が必要であった重症のCOVID-19患者さんを対象としています。

・研究期間：倫理委員会承認後から2026年3月31日

・方法

この研究への参加に同意いただきましたら、カルテより以下の情報を取得し使用します。

・研究に用いる情報について

患者背景情報（年齢、性別、身長、体重、病名、現病歴、既往歴、併存症、

内服歴、重症度など)、画像診断 (X線写真、CT 検査、超音波検査など)、バイタルサイン (血圧、脈拍、呼吸数など)、治療・管理で使用した薬剤、デバイス (気管挿管、透析など)、検査 (動脈血ガス分析、一般血液、血液生化学、ウイルス、血液培養、各種細菌学的検査など)

・外部への試料・情報の提供

広島大学へ取得した情報を匿名化して送り、解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを特定できる情報は削除して提供させていただきます。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの血液や病理組織、測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者 (京都第一赤十字病院 救急科 堀口真仁) の責任の下に厳重に管理し、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・試料・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都第一赤十字病院 救急科の堀口真仁の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。また今回得た情報を将来、研究に用いる場合は、改めて京都府立医科大学医学倫理審査委員会において承認を受けた後に使用します。

研究組織

研究責任者

京都第一赤十字病院 救急科 副部長 堀口真仁

研究担当者

京都第一赤十字病院 麻酔科 副部長 松山広樹

共同研究機関

広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗

現時点では未定ではあるが、日本救急医学会・日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会・日本感染症学会・日本化学療法学会・日本呼吸器学会に所属する全国の機関

お問い合わせ先

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

京都第一赤十字病院 救急科

職名: 副部長 氏名: 堀口真仁

電話: 075-561-1121(代) 受付時間 9時から17時まで